

危険物新聞

第 205 号

発行所 大阪府危険物品協会連合会
発行人 田 宮 呉 策
大阪市西区西長堀北通1丁目
四つ橋ビル8階
TEL (531) 9717. 5910
定価 1部 20円

春を呼ぶ水竜の舞

出初式 1971年のスタートを飾る



1月6日、桜島公園で

賀 正

1971年も消防出初式ではなばなくスタートした。

昨年は万国博で終始した大阪も、今年は公害問題で明け暮れる様子。

十有余の公害防止法令が昨年末公布され、大気汚染、水質汚染、産業廃棄物処理と難問題が堆積している。

しかも一時停滞していた危険物災害も1昨年頃より上昇の気ざしである。経済成長第一主義にややもするととり残されていた公害、災害対策を、もう一度前向きに検討すべき時期がきているようだ。

明日の火災に挑戦する……

ヤマト消火器



昭和44年度全国火災白書より

1日に156件の火災と3.7人の焼死者

出火件数、損害額、死傷者とも増加

消防庁では、このほど昭和44年度(44年4月~45年3月)の火災並に消防行政について、いわゆる消防白書を発表した。

これによると、消防体制の強化が、着々と進められる一方産業経済の発展はまことにめざましく、危険物施設や、高層ビル、地下街なども著しい増加を示し、火災危険の度合も、ますます増大し、出火件数、焼損面積、損害額、死傷者が、ともに増加している。

火災の概要

昭和44年中の火災は第1表のとおりで、前年度と比較しいずれの項目でも著しい増加をみている。

第1表 昭和44年度の火災と損害(前年比)

	昭和44年	昭和43年	
出火件数件	56,797件	53,654件	
うち	建物火災	37,653件	34,453件
	林野火災	5,348件	6,628件
建物焼損面積	2,555,551㎡	2,245,673㎡	
損害額	702億円	543億円	
死傷者	1,334人	1,160人	
負傷者	9,302人	8,807人	

一方この昭和44年度の火災を昭和35年度(指数=100)と較べると出火件数では130と30%の増加であるが、損害額では、物価上昇もあるが287、死者は171と激増している。

これを1日当りでみると第2表のとおりで、156件の火災があって、いいかえると、9分おきにどこかで火災があって約2億円の損害をだし、死者4人、負傷者26人となっている。

第2表 1日当りの火災と損害

区 分	昭和44年	昭和43年
出火件数(件)	156	147
損害額(百万円)	192	149
建物焼損むね数(むね)	141	120
建物焼損面積(㎡)	7,002	6,153
林野焼損面積(アール)	4,133	3,481
り災世帯数(世帯)	108.3	93.6
り災人員(人)	398.3	392.3
死者(人)	3.7	3.2
負傷者(人)	25.5	24.1

原因別 発火源別に大分類すると、第3表のとおりで、タバコ、マッチ、火の粉、たき火等の火種によるものが、全火災の42%を占め、次いで石油ストーブ、石油コンロ、ガスコンロ等のガス、油類を燃料とする道具装置類である。こういう分類法からみると、危険物品は、1%で昭和38年頃をピークに減少の傾向にある。

発火源を小分類別にみると、第4表となり、タバコが、第1位で、全体の13%を占め、次いで、火あそび、たき火となっている。

謹

賀

大阪市危険物品協会
 堺市危険物協会
 東大阪市西防火協力会
 東大阪市中防火協力会
 東大阪市東防火協会
 吹田市危険物品協会
 枚方市火災予防協力会

寝屋川市防火協会
 豊中危険物防火安全協会
 守口門真防火協会
 八尾火災予防協会
 高槻市火災予防協会
 岸和田市火災予防協会
 茨木市災害予防協会

第 3 表 昭和44年発火源別出火件数

区 分	出火件数 (件)	割合 (%)
火種(それ自身発火しているもの)	23,946	42.2
ガス、油類を燃料とする道具装置	11,840	20.8
電気による発熱体	6,651	11.7
まき・炭・石炭を燃料とする道具装置	4,372	7.7
高温の固体	2,233	3.9
自然発火、あるいは再燃を起しやすい物	1,425	2.5
危険物品	611	1.1
天災(雷)	167	0.3
不明	5,552	9.8
計	56,797	100.0

第 4 表 昭和44年主な発火源(小分類)別出火件数と損害

発火源別	件数 (件)	損害額 (百万円)
たばこ	7,510	6,635
火あそび	5,161	3,057
たき火	4,536	1,321
こんろ	3,394	3,557
ストーブ	2,314	5,565
風呂、かまど	2,306	1,737
マッチ、ライター	2,013	1,363
煙突、煙道	1,944	1,700
その他の電気	1,983	2,528
放火	1,604	1,267
こたつ	1,303	1,546
放火の疑い	1,170	973
取灰	986	627
炉	980	1,443
内燃機関	887	462

石油ストーブの使用は、灯油の年間消費量が、前年度比 17%増加からみて、相当伸びているにもかかわらず、石油ストーブ火災は前年度より187件も減っている。

ところが、LPガスによる爆発火災は、前年度より47件

も増え、とくに死者は 69人と前年を 31人も、負傷者は236人と 159人も上廻り、需要の増加もあろうが、その危険性を如実に物語っている。

火災による死者

死者は 1,334人で前年の 1,160人をこえ、戦後最高となり、死者を伴った火災件数でも1,066件と前年より138件増加している。

これを人口割にみると、人口10万人に対し、1.3人の焼死者となり、率の高かった地域は福島、2.47人(ホテル火災で30人の焼死者あり)北海道2.19人、岩手1.96人と寒冷地に多く、最も少かったのは宮崎県の0.36人となっている。昭和35年からの推移をみると第5表のようである。

第 5 表 火災による死傷者の推移

年度	死者	指数	負傷者	指数
35	780	100	8,113	100
36	806	103	8,774	108
37	861	110	8,610	106
38	853	109	8,622	106
39	940	121	9,145	113
40	965	124	9,308	115
41	1,111	142	8,210	101
42	1,106	142	9,370	115
43	1,160	149	8,807	109
44	1,334	171	9,302	115

これを季節別にみると火災の多い冬季に多いが、11月から3月までの間に846人と全体の3分の2が集中している。

また、時間別に死者の発生状況を見ると第1図のとおりで、就寝中とみられる午後11時から午前3時までが最も多い。

焼死原因別にみると、一酸化炭素中毒及び窒息によるとみられる。

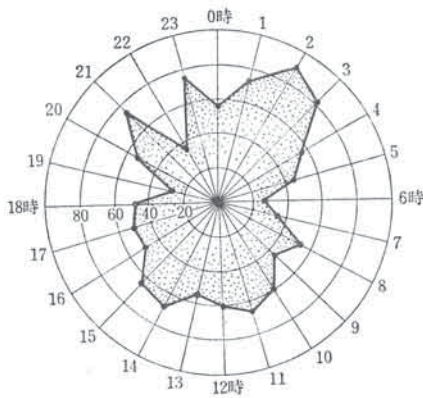
新

- 池田市消防協会
- 大東市火災予防協会
- 柏羽藤火災予防協会
- 泉大津市火災予防協会
- 泉佐野市危険物保安協会
- 貝塚市危険物品保安協会
- 箕面市防火協会

年

- 河内長野市防火協会
- 富田林市防火協会
- 摂津市防火安全協会
- 忠岡町火災予防協会

大阪府危険物品協会連合会



第1図 時間別死者発生状況

死者が約60%と過半数を占め、火傷死は28%で火災による発生ガスと煙の恐しさを物語っている。

第6表 月別の死傷者発生状況

区 分	死 者		負 傷 者	
	人	割合(%)	人 数	割合(%)
1 月	183	13.7	976	10.5
2 月	170	12.7	757	8.1
3 月	168	12.7	1,065	11.5
4 月	127	9.5	952	10.2
5 月	85	6.4	885	9.5
6 月	62	4.6	708	7.6
7 月	35	2.6	597	6.4
8 月	52	3.9	557	6.0
9 月	54	4.0	566	6.1
10 月	73	5.5	527	5.7
11 月	127	9.5	726	7.8
12 月	198	14.9	986	10.6
合 計	1,334	100.0	9,302	100.0

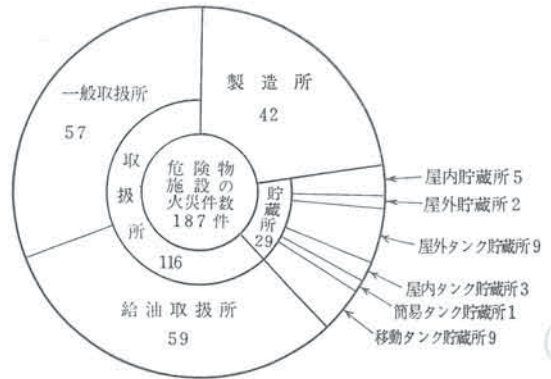
危険物火災

56,797件の火災のうち、危険物施設の火災は187件で、前年より39件増加し、昭和40年以降の推移は第7表のとおりである。これを施設区分別にみると第2図のとおりとなり、製造、取扱施設が殆んどを占めている。

第7表 危険物施設火災の推移

年 次	火災件数	損害額 (億円)	死 者 (人)	負傷者 (人)
昭和40年	130	3.0	6	58
昭和41年	122	3.6	4	104
昭和42年	143	1.8	9	124
昭和43年	148	3.2	10	122
昭和44年	187	2.7	10	198

一方、これらの火災に伴う死傷者をみると、死者10人、負傷者198人で、全火災の比率と較べると第8表のように死傷者率は高く、危険物施設火災では約20件の火災で1人の死者があり、1件ごとに1人の傷者がでていることになる。



第2図 危険物施設の火災発生状況

あらゆる消防設備・設計・施工

非常扉の自動開錠装置
 防火扉・危険物貯蔵所等の自動閉鎖装置
 泡・ガス・エアードーム消火装置

} YMオートアンロック

YM式オートアンロック西日本総括
 齊田式救助袋 近畿地区
 日本ドライケミカル(株)
 ヤマト消火器(株)

} 代理店

株式会社
三和商会

TEL 06 (443) 2456

第 8 表 昭和44年危険物施設火災死傷者数

	全火災	危険物施設火災
出火件数(A)	56,797件	187件
死者(B)	1,334人	10人
負傷者(C)	9,302人	198人
死者率 B/A	$\frac{1}{42}$	$\frac{1}{19}$
負傷者率 C/A	$\frac{1}{6}$	$\frac{1.1}{1}$

危険物施設火災はその性格上原因は殆んど危険物で、危険物以外原因で火災になったものは17件に過ぎない。そこで危険物類別にみると

第1類	2件
第2類	3件
第3類	2件
第4類	160件
第5類	1件
第6類	2件

となり、例年のとおり、第4類関係が大半を占めている。とくに石油類が多く

第1石油類	90件
第2石油類	16件
第3石油類	44件

となっている。

また 187 件のうち、取扱主任者の立会いがなかった状況での火災が約半数の85件もあり、その重要性が更めて確認される。

その他に危険物を無許可で貯蔵取扱っていた施設の火災が29件もあり、しかもその損害額は3億円を超え、危険物施設火災 187 件の火災による損害額2億7,000万円より多いことは注目に値する。

危険物運搬中の火災は意外に少く、容量運搬中では4件、移動タンクで1件となり、外に移動タンク火災(主として積卸作業中)が8件ある。

標識・掲示板は協会で

危険物製造所	}	鉄板・メラミン塗装製
危険物給油取扱所		¥450
危険物小量取扱場		強化プラスチック製
その他各種		¥550
類別・品名	(白地黒字)	#
火気厳禁	(赤地白字)	#
火気注意	(赤地白字)	#
禁水	(青地白字)	#
注水注意	(青地白字)	#
給油中エンジン停止		#
消火器・使用法(各種消火器)		塩化ビニール製
		¥80
危 (夜間運搬用・黒地黄字)		鉄板メラミン塗装製 発光字
		¥650
危険物 (運搬用版・黄地黒字)		綿布製
		¥70

大阪市危険物品協会

第 9 表 世界主要都市火災概要 (1969年)

国名	都市名	管内面積 (km ²)	人口 (万人)	火災件数	出火率	死傷者数		火災原因		
						死者	傷者	1	2	3
アメリカ	ニューヨーク	829	800	126,204	157.8	313	5,156	たばこ	子供の火遊び	調理器具
	ロサンゼルス	1,201	295	30,062	101.9	86	1,978	マッチ、ライター	たばこ	バックファイヤー
	シカゴ	583	355	61,105	172.1	198	429	たばこ、マッチ	暖房調理器具	電気器具
	ボストン	122	65	8,317	128.0	30	37	たばこ、マッチ	電気器具	暖房器具
	マイアミ	89	40	2,511	62.8	14	182	たばこ、マッチ	裸火、火の粉	電気器具
カナダ	トロント	98	68	5,549	81.6	21	735	たばこ	調理器具	電気器具
イギリス	ロンドン	1,590	788	43,733	55.5	167	1,108	子供の火遊び	たばこ、マッチ	たき火
	マンチェスター	110	60	6,879	114.7	27	152	子供のマッチ遊び	ごみくず	電気配線
	グラスゴー	160	93	7,614	81.9	42	不明	子供の火遊び	放火	落火
	リバプール	110	69	8,443	122.4	8	113	子供の火遊び	落火	油の着火
オランダ	ロッテルダム	204	68	1,982	29.1	4	76	火遊び	自動車	調理器具
日本	東京	1,170	1,052	8,460	8.0	140	1,634	たばこ	放火とそれ以外の	火遊び

危険物取扱主任者試験合格者

35年以降83万人

昭和44年度の危険物取扱主任者試験は、東京都では毎月、大阪府では4回、他の道府県でも、それぞれ1回以上実施したが、受験者総数は、246,956人で、前年度に対し、8,942人の増加となっている。

受験者の内訳は、甲種は2.8%の6,796人で、乙種第4類が最も多く89.8%の221,681人となっている。

これらの受験者数を、国家試験初年度の昭和35年度を基準にしてその推移をみると第1表のとおりとなる。

第1表 取扱主任者受験者数推移

Table with 4 columns: Year, Total, Type A, Type B. Rows from 昭和35年度 to 昭和44年度.

(注) 昭和35年度の受験者数を100とする。

同年度の合格者総数は119,616で、合格率は48.4%で、甲種、乙種とも同率であった。また受験者の一番多い乙種4類の合格率は、例年どおり最低で、46.5%となっている。ちなみに、大阪府の合格率は49.5%であった。

なお、昭和35年以降45年3月31日までに合格した者の総計は甲種24,564人、乙種812,883人で各類の内訳は次のとおり。

Table with 2 columns: Category, Count. Rows for Total, Type A, Type B, and sub-categories 1-6.

- 危険物関係法令集 ¥ 250
危険物理化学(乙種) ¥ 200
試験問題集(乙種) ¥ 150
施設図解説(1部) ¥ 650

大阪府危険物品協会連合会

第2表 危険物施設数の累年比較

Large table with columns for storage types (貯蔵所) and handling locations (取扱所) across years from 34 to 45.

<注> ① 調査期日は34年……9月30日、その他の年……3月31日

② ()内数字は件数を示す

引火点測定結果

これは、業界からの資料提出により、消防局で測定したものです。

この測定は、引火点のみで、資料の分析等は行っていませんから、提出資料と品名に相違があってもその責めは負いません。なお、他研究、試験機関での測定結果とも、条件その他の理由で多少相違するかも知れません。

ブリードウォーター	不燃性	—	非危険物
ポリライトOD—R572S	18.0	19	第1石油類
ポリライト8014	32.4	36	第2 〃
ポリウレタン樹脂M—409	14.5	87	第1 〃
モノイソプロパノール95%	78.8	80	第3 〃
UT—20 (絶縁ワニス)	14.6	21	第2 〃
ニペコチン酸メチルエステル	73.6	82.0	第3 〃
フ化ホウ素エーテルフェノール混合物	106.0	113	第3 〃
スルホネート	不燃性	—	非危険物
PL—27	22.6	24	アルコール類 (アルコール含有率64%)
SP840	不燃性	—	非危険物
SP851	不燃性	—	非危険物
セメダイン 680	不燃性	—	非危険物
〃 201	-5.5	-4	第1石油類
〃 3000RP	91.0	101	第3 〃
〃 CS—2902	6.8	13	第1 〃
ロンセメント	5.7	11	第1 〃
モナファインゾール	68.2	90	第2 〃
クロルベンズアルデヒド	93.2	103	第3 〃
2,6ルチジン	41.2	57	第2 〃
ラスノン (界面活性剤)	37.5	自燃性なし	非危険物
ルノックスMA20 (洗剤の原料)	215	268	第3石油類
レジンA	28.5	36	第2石油類
150#冷凍機油	163	175	第3石油類
300#冷凍機油	159	163	第3石油類
レヂューサー (印刷溶剤)	14.5	77	第1石油類
ワテックスNo. 101	不燃性	不燃性	非危険物
ワテックスNo. 202	不燃性	不燃性	非危険物
ワテックスNo. 303	不燃性	不燃性	非危険物
カネクロール400	202	自燃性なし	第3石油類
グラビア印刷インキ	< 0	< 0	第2石油類
ソルベン	66.2	82	第2石油類
ダフニCB65	117	137	第3石油類
糊剤3号液	< 0	< 0	第1石油類
糊剤DZ液	< 0	< 0	第1石油類
PD—A原液	14.2	18	第1石油類

講習日程表

(期別)	(講習日)	(会場)
1期	2月1日(月)と 3日(水)	▶大阪府青少年会館 (地下鉄・環状線森ノ宮 西へ6分)
2期	2月2日(火)と 8日(月)	▶ //
3期	2月4日(木) 2月10日(水)	▶ //
4期	2月3日(水)と 9日(火)	▶大阪府中小企業文化会館 (地下鉄谷町9南へ5分)
5期 (夜)	2月3日(水)と4 日(木)と8日(月)	▶大阪府青少年会館
6期	2月5日(金)と 12日(金)	堺労働セツルメント (阪堺線大小路電停)
7期	2月8日(月)と 16日(火)	茨木市役所講堂

<注> 1. 各会場で第1日目に受験願書の仮受付をします。
2. 大阪市内会場では、第1日目講義前約30分、受験願書用の写真撮影をします。

大阪府危険物取扱主任者試験

2月21日、近畿大学で
今回は乙種第4類のみ

大阪府では昭和45年度第4回目の危険物取扱主任者試験を、2月21日(日)実施することになった。なお今回は乙種第4類のみについて行われる。

大阪府危険物品協会連合会では、試験に先だち、受験準備講習会を次により開催する。

主任者試験

試験日 2月21日(日)午前10時または午後1時30分
試験場 近畿大学
願書受付 2月9日と10日 職員会館
合格発表 3月8日(月)

試験準備講習会

- ▷主催 大阪府危険物品協会連合会
- ▷後援 大阪府 大阪市消防局 府下各市消防本部
- ▷申込所 ○大阪府危険物品協会連合会事務局
(地下鉄・四ツ橋最北寄出口、四ツ橋ビル
8階) 1月28日、29日
○茨木市災害予防協会 1月25日
(茨木市消防署内)
○堺防災協力会 1月26日
(阪堺線大小路町電停前 堺消防署内)
- ▷受講費 乙種：700円(400円)、()内は大阪府危険物品協会連合会加盟協会々員、該当者は申込書に所属協会のなつ印をうけること。
- ▷テキスト 乙種用注解付法令集(250円)、乙種用理化学(200円)、乙種用試験問題集(150円)

枚方寝屋川消防組合消本庁舎完成

かねて建設中の同本庁舎および寝屋川消防署庁舎が完成、また人事異動が次のとおり行われた。

本部および枚方消防署……枚方市大垣内町2丁目
寝屋川消防署……寝屋川市池田2丁目

人事異動 ▷消防長 正監稲田実 ▷総務課長 司令長中谷晃光 ▷警防課長 司令長前田芳男 ▷枚方署長 監高木信雄 ▷枚方副署長 司令長竹島芳太郎 ▷寝屋川署長 司令長田中幸次 ▷寝屋川副署長 司令前川正道

泉佐野市消防本部人事異動 泉佐野市消防本部では1月1日付を以て次のとおり人事異動を発令した。

▷次長 消防司令 島友介(予防係長)

消防ポンプから家庭用消火器まで!

消防機器の総合メーカー



保険付
家庭用万能消火器ピーナス

信頼のマーク



- 梯子消防車
- 消防ポンプ車
- 保険付消火器
- クレーン車

森田ポンプ株式会社

本社 大阪市生野区腹見町2の33
TEL (751) 1351
営業所 東京・大阪・仙台・名古屋・福岡
富山・北海道